

【グループ小中一貫教育目標（案）】 *今年度中に、3校全職員で意見を交換し、決定していく

大好き「しずおか」、「SHIZUOKA」に貢献する大里の子どもたち

視点1：学校教育目標を共有

『自己有用感』の醸成

視点1：学校教育目標を共有

視点2：9年間の連続性・系統性の教育

視点1：学校教育目標を共有

【重点目標(主体性育成の視点)】
中田小：自分からチャレンジ
大里西小：自分で考え、言葉や行動で表そう
大里中：自ら考え、行動する生徒

『主体性』の育成

軸となる取組①

『協働性』の育成

【重点目標(協働性育成の視点)】
中田小：仲間とチャレンジ
大里西小：互いを思いやり、みんなで取り組もう
大里中：協働し、新たな価値を創り出す生徒

『探究』の推進

視点3：児童生徒の交流

<ICT活用PJ>

・一人一台端末を積極活用した小中合同の企画・取組を創造する。

<児童生徒間交流PJ>

・小学生が中学生に憧れを抱くような取組を創造する。

<学校図書館活用PJ>

・学びを發揮・深化するための、学校図書館の有効活用を小中合同で創造する。

<しずおか学創造PJ>

・小中の学びがつながり、学びが『探究』に発展する「しずおか学」を創造する。

視点4：地域との連携

<外部リソース活用PJ>

・学びを發揮・深化するための、外部リソースの有効活用を小中合同で創造する。

<授業創造PJ>

・新学習指導要領に対応した授業を、小中が同じ視点で研究する。
・教科で身に付ける力が9年間でどう深化していくかを研究する。

視点2：9年間の連続性・系統性の教育

軸となる取組②

<特別支援教育啓発PJ>

・適切な就学支援のあり方を小中で確認し合い、有効的な啓発方法を研究する。

<不登校対策PJ>

・学校に起因する不登校の理由を追究し、具体的な対策を創造する。

公正な教育（特別支援教育）の推進

事務部会

主体性・協働性を發揮

「プロジェクト（PJ）型職員組織」

同じ方向性を実現

養護教諭部会

視点3：教職員の協働

小中一貫教育企画委員会

委員：校長・教頭・主幹教諭・生徒指導主事・各PJリーダー

視点4：地域との連携

視点4：地域との連携

学校応援団との協働

統括コーディネーターを中心とするボランティア

大里健康福祉センターとの連携・協働

大里生涯学習センターとの連携・協働

視点4：地域との連携

「小中一貫教育準備委員会」

令和4年度は「小中一貫運営協議準備委員会」

委員：学校応援団統括C・地区連合自治会長・健全育成会長・PTA会長・民生児童委員協議会長・大里生涯学習センター長・保護司代表・学識経験者・こども園長・幼稚園長・校長・教頭・主幹教諭

子ども・先生・保護者・地域が、夢を語り合い、夢を育む学校・地域に！